

令和5年第1回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和5年1月24日（火）

午後1時30分～

場 所 金浦公民館 軽運動室

議 事 日 程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第1号 にかほ市生涯学習・社会教育計画の策定について
- 第 3 議案第2号 にかほ市教育委員会表彰について
- 第 4 議案第3号 夏季・冬季休業中の学校閉庁日について
- 第 5 議案第4号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 第 6 報告

令和5年1月24日招集

令和5年第1回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和5年第1回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和5年1月24日 火曜日
2. 場 所 金浦公民館 軽運動室
3. 開 会 午後 1時30分
4. 閉 会 午後 2時40分

5. 出席委員 教育長 齋 藤 光 正
委員 小 松 雅 子
委員 佐 藤 道 彦
委員 佐 藤 緑

6. 説明のための出席者

教 育 次 長	畠 山 真 姫 子
教 育 総 務 課 長	今 野 和 彦
学 校 教 育 課 長	菱 刈 宏 記
学 校 教 育 課 副 主 幹	佐 藤 義 明
生 涯 学 習 課 長	山 田 高
仁 賀 保 公 民 館 長	三 浦 晶 子
象 潟 公 民 館 長	佐 々 木 美 和
フ ェ ラ イ ト 子 ども 科 学 館 長	佐 々 木 和 則
白 瀬 南 極 探 検 隊 記 念 館 長	佐 々 木 孝 人
文 化 財 保 護 課 長	鎌 田 昭 義

7. 書 記 教育総務課副主幹 佐々木 真紀子

8. 会議に付した議案

- 議案第1号 にかほ市生涯学習・社会教育計画の策定について
- 議案第2号 にかほ市教育委員会表彰について
- 議案第3号 夏季・冬季休業中の学校閉庁日について
- 議案第4号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

9. 可決した議案

- 議案第1号 にかほ市生涯学習・社会教育計画の策定について
- 議案第2号 にかほ市教育委員会表彰について
- 議案第3号 夏季・冬季休業中の学校閉庁日について
- 議案第4号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

10. その他の確認事項

- (1) 令和5年第2回教育委員会は令和5年2月17日(火)午後1時30分から金浦公民館で開催することにした。

11. 会議の要旨

【開会 午後1時30分】

【教育長】

ただいまから令和5年第1回にかほ市教育委員会を開催いたします。本日の会議の出席委員は4名であります。

議事日程の第1 会議録署名委員の指名を行います。委員は小松委員と佐藤緑委員にお願いします。書記には事務局の佐々木副主幹をお願いいたします。それでは日程の第2 議案第1号 にかほ市生涯学習・社会教育計画の策定について を議題といたします。生涯学習課長から説明をお願いします。

(生涯学習課長説明)

【教育長】

この計画は、第二次にかほ市総合発展計画を上位計画とする個別計画になります。つまり、総合発展計画の理念を具体的に進めていくものになります。総合発展計画を目指す指針として社会教育、生涯学習計画を作っています。いずれ、市民が、さまざまなライフステージで学び続けるという環境づくりが社会教育、生涯教育の基本であります。そして、市民ひとりひとりが主体的に、生きがいと豊かさを持って暮らしていける、つまり、総合発展計画の目指す「夢あるまち」「豊かなまち」「元気なまち」「住みたいまち」を目指すための大きな指針という捉え方をさせていただきたいと思います。策定にあたり、4回の委員会を開き、がんばっていただきました。パブリックコメントというのは、それなりの考え方がありまして、常に私たちと同じ考え方とは限りませんが、できるだけ、説明をしていくことも大事だろうと思います。いずれ、生涯学習・社会教育計画は、市にとって大事な計画であるという捉え方でお願いしたいと思います。

【佐藤道彦委員】

初めて、郷土史市民講座に参加させていただきました。せいぜい20人から30人程度と聞いていましたら、100人ぐらいの申込があつて、常に60人から70人が参加されていると聞き、驚きというか、今まで誤解があつたと感じたところです。奥の細道についてでしたが、象潟にいながら知らないことがあり、いい機会でした。この講座は、あと4、5回あるようなので、できるだけ参加したいと思っています。今後も、市民の要望等を取り入れながら開催していただきたいです。

【佐藤緑委員】

計画の策定に、多大なエネルギー、時間がかかったのではないかと思います。本当におつかれさまでした。ただ、計画だけにならないように、今後それぞれの担当部署で、具体的なものが出てくると思います。生涯学習・社会教育計画にリンクさせ、それが総合発展計画へと有機的につながるよう希望します。高齢化という悩ましい問題もありますけれども、小さな子どもたちはもちろん、高齢者が元気に過ごせるまち、生き生きと過ごせるまちであってほしいと思います。

【小松委員】

講座の参加メンバーの高齢化、固定化を感じます。この問題を打開できる方法が何かないかと常々考えております。もっと、広くいろいろな方が参加できる行事ができればと思います。また、青少年健全育成の作文コンクールに関わっていますが、マンネリ化しつつあり、評価の仕方を検討したりもしていますが、子どもたちも新しい目で見られるような取組が必要と考えます。

【教育長】

確かに、講座、研修の参加者が固定化され、また高年齢化している傾向は、にかほ市だけではなく、全国規模の傾向です。働いている方たちは、「聞きたい」「見たい」「経験したい」と思っても、時間的、物理的に無理です。その方々がある程度の年齢になり、時間の余裕がでてくれば、自然に参加するように思います。そのために、私たちは学び続けていくことを諦めてはいけません。また、開催し続けることが大事なのです。例えば、県外に就職したとしても、にかほ市を支えていこうとか守っていききたいという気持ちがあることと同じだと思います。一度去っても、戻ってくるようなそういう研修や講座を生涯学習、社会教育のなかで位置づけていかないといけません。発展計画に繋がる大きな狙いを忘れてはいけないと思います。この計画を立てた段階で、学び続ける環境づくりを続け、諦めてはいけません。計画を見直しながら、さらに充実したものにしていくよう、生涯学習課長を中心によろしくお願いしたいと思います。委員の皆さん、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、議案第1号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定いたします。

日程の第3 議案第2号 にかほ市教育委員会表彰について、教育総務課長から説明をお願いします。

(教育総務課長説明)

【教育長】

教育委員会表彰は、文化的、または芸術的な表彰であります。体育的、またはスポーツ的なことは、どこの自治体でも行っていますが、子どもたちの文化、芸術分野の表彰は、にかほ市のみであります。そういう意味でも、継続していきたいと思えます。

ただ、学校から申請が漏れているケースもありますので、学校に再確認をしていただきたいと思えます。また、申請が、2、3月になっても、表彰対応ができるようお願いいたします。絶対に落とさないようお願いしたいと思えます。

【佐藤道彦委員】

推薦名簿を見ますと、学校にばらつきがあるようです。学校の取組みの違いでしょうか。

【教育長】

個人の取組みが多いです。

【佐藤道彦委員】

象潟小、中は、青少年健全育成作文コンクールにも選出が少ないように思えます。

【教育長】

個人の取組みが、強いように感じます。特に書道等は、個人で団体に入り表彰されることが多いです。学校の取組みを校長会あたりでも呼び掛けてみたいと思えます。この表彰に関しては、教育委員の皆さんに、各学校に出向いていただいています。コロナでここ数年行っていませんが、校長室での表彰ですし、学校や子どもたちの様子もわかるので、ぜひ行っていただけたらいかがでしょうか。よろしくお願ひしたいと思えます。それでは、議案第2号について、ほかにありませんか。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、議案第2号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認いたします。

次に、日程の第4 議案第3号 夏季・冬季休業中の学校閉庁日について 学校教育課長より説明をお願いいたします。

(学校教育課長説明)

【教育長】

学校閉庁日というのは、管理規則で決まっていますが、そのたびに変えていくと曜日

によって、都合が悪いケースも出てくるため、管理規則は変えていません。由利本荘市も同様ですが、校長会からの要望として、働き方改革、新年度の準備等の理由により、教育委員会が認めていくという捉え方です。ご了承いただきたいと思います。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、議案第3号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定いたします。次に、日程の第5 議案第4号 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 学校教育課長をお願いします。

(学校教育課長・学校教育課副主幹 説明)

【教育長】

議案第4号について、質疑等ありませんか。

(議案審議)

(異議なしの声)

【教育長】

議案第4号については、3件を認定し、2件を却下とします。却下の方への説明は丁寧をお願いしたいと思います。

次に、日程の第6「報告」に入ります。最初に私からですが、題名は「教員不足への対応は？」です。さまざまな報道で、「学校の先生が足りない」というようなことが言われております。現に、文部科学省で調べた昨年4月の段階で、定数に対し、2,600人の先生が足りないと判明しました。プラスαの定数ではなく、学級数に合わせた先生の人数が足りないのです。誰が、犠牲になるかということ子どもたちです。学級担任がいないのです。教務主任、研究主任、教頭先生も学級担任として対応しなければなりません。私たち由利本荘管内は講師が対応しています。ただ、県北地域は足りていません。いくら県教育委員会に言っても、人そのものがないために、配置ができません。今、講師もほとんどいません。産休に入る先生もギリギリまで勤務している状況です。この教員不足は、人材不足という国の問題として考えていかないといけないと感じています。人を育てることが、国を維持する、支える、または自治体を支えることになるのに、まったく国でやってくれません。毎年、国から、さまざまな教育要求が出てきます。先生方は、笑顔も出せない、子どもたちに声掛けもできない疲弊した現状を文部科学省はどう見ているのか、教育長として腹立たしいです。そして、全県、全国の教育長会議でも、もっと先生を増やしてほしいと要望しています。文部科学省は、財務省に要望を出すと、

「少子化なのに、先生を増やす必要があるのか」という捉え方で、まったく合いません。先生が不足で、対応が難しくなれば、子どもたちも心が豊かになりませんし、学力も身に付かないとなれば、自治体、国全体を支えていく人材が育たないこととなります。教育長だけでなく、各団体、保護者、PTAが一丸となって、応援し、要求していかないと捉えています。できるだけ、教育長会議で呼びかけていきたいと思っています。それでは、教育総務課長から報告をお願いします。

(教育総務課長から順次 報告)

【教育長】

ただいま各課から「報告」がありましたが、確認したいことや詳しく聞いてみたいことなどございませんか。

【佐藤緑委員】

細かいことですが、白瀬南極探検隊記念館入館者の12月実績は、昨年より減少しているということではよろしいでしょうか。冬場ですと天候の影響もありますし、夏場に実績が伸びてくれるとよいですね。

【教育長】

ほかに、ありませんか。

(なしの声)

【教育長】

ないようですので、次回の2月の教育委員会ですが、2月17日金曜日、午後1時30分から、金浦公民館で開催したいと思います。よろしくをお願いします。以上で、本日の委員会に提案された議案の審議はすべて終了しました。これもちまして、第2回にかほ市教育委員会を閉会いたします。

【閉会 午後2時40分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長 齋藤 光正



” 委 員 小松 雅子

” 委 員 佐藤 緑

教員不足への対応は？

にかほ市教育長 齋藤 光正

昨年度の文部科学省の調査で、
～学級担任や授業をする教員が、4月の学校開始時点で2600人近くも足りない。
という深刻な実態が明らかになった。
また、現場調査によると、2021年度は約4割の小中学校で教員不足があり、2022年度の始業式時点でも、約2割の学校で教員不足が発生している。
そのような状況から抜け出すために、教育研究家の「妹尾昌俊」氏が、次の三つの提言を発表している。

1. 応急措置は？

- ・「応急措置」とは、ともかく教員として働く人を速やかに増やすことである。
- ・教員になれば、「奨学金の返済」が免除という仕組みを復活させる。

2. 体質改善は？

- ・「体質改善」とは、教員の負担減、教員の働き方改革である。
- ・「一丁目一番地」と重要であると捉え、教員のなりたい人を増やし、そうすれば、現職の病休や退職も減ることにつながる。

3. 根本治療とは？

- ・「根本治療」とは、教員の定数を増やす、そのために国の予算を確保する。



抜本的な対策として、

1) 教職員定数の抜本増

- ・8時間労働に収まるような抜本的な定数改善計画を策定する。
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の定数化
- ・義務教育給与の国庫負担率を1/2に戻す。

2) 残業代の支給制度の確立

- ・4%の調整額を廃止し、残業代支給の抜本的な改善計画を策定する。

3) 学習指導要領の改訂で過密カリキュラムを緩和

4) 多すぎる業務量の断捨離

- ～不要不急の業務の中止、削減、
- ～初任研修を半減に
- ～教員評価制度の中止、部活動顧問の強要なくす。

5) 教育委員会事務局で働いている教員免許を持っている職員を学校に派遣する。

6) ハラスメントのない働きやすい職場にする。

このように、国が真剣に改善計画を策定し、段階的に定数を増やしていかないと、今の悪循環から抜け出すことはできない。

講師 プロフィール

学校マネジメントコンサルタント・教育研究家

妹尾 昌俊（せのお まさとし）氏



【略歴】

徳島県出身。京都大学大学院法学研究科を修了後、2004年野村総合研究所に入社。パブリックマネジメントと学校教育を専門に学校マネジメントや学校と地域の連携、公的ヴィジョン・戦略づくりなどに従事。2016年から独立。文部科学省での講演のほか、全国各地の管理職研修、教員研修、事務職員研修などを手がけている。

2017年度から、学校業務改善アドバイザー（文部科学省委嘱のほか、埼玉県、横浜市高知県等）、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員。スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」委員を務めている。

現在、中2、小6、小4、小1の4人の子育て中。

【主な著書】

『変わる学校、変わらない学校』

『思いのない学校、思いだけの学校、思いを実現する学校

—ビジョンとコミュニケーションの深化』

『「先生が忙しすぎる」をあきらめない—半径3mからの本気の学校改善』

1. 発注実績

○平沢小学校階段手摺・スロープ設置工事

契約金額：¥913,000円

期 間：令和4年12月16日～令和5年3月29日

内 容：階段手摺り（68.5m） 一式

スロープ設置（3カ所） 一式

施工業者：三共㈱

○平沢小学校駐車場砂利敷業務

契約金額：¥385,000円

期 間：令和4年12月16日～令和5年1月20日

内 容：砂利敷（36m³） 一式

施工業者：㈱あべ建設

学校教育課

1. 事業報告

1 2月23日 (金)	2学期終業式
1 2月24日 (土)	冬季休業（～1月15日）
1 2月28日 (水)	学校閉庁日
1月 4日 (水)	学校閉庁日
1月11日 (水)	キッズプログラミング教室上級編（象潟小）
1月16日 (月)	3学期始業式
1月18日 (水)	象潟中学校保健委員会

2. 事業計画

2月 1日 (水)	情報教育推進委員会
2月 2日 (木)	本荘由利校長会 特別支援教育運営委員会 院内小学校学校保健委員会
2月 3日 (金)	にかほ市校長会
2月 6日 (月)	平沢小学校保健委員会、給食運営委員会
2月21日 (火)	仁賀保中学校学校保健委員会
2月24日 (金)	教育研究所運営委員会
2月27日 (月)	臨時教育委員会（教職員人事について）
3月 7日 (火)	高等学校一般選抜
3月11日 (土)	中学校卒業式 ※出席者については別紙参照
3月14日 (火)	小学校卒業式 ※出席者については別紙参照
3月15日 (水)	高等学校一般選抜合格発表
3月20日 (月)	修了式

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

- 12月22日(木) 高齢者学級 金浦福寿大学
「ピアノ&コミュニケーションマジックショー」 参加者34人
- 1月8日(日) 令和4年度「にかほ市二十歳を祝う会」
会場 ホテルエクセルキクスイ 参加者173人
- 1月11日(水) 浜っ子クラブ「子どものつどい」 参加者39人
- 1月12日(木) 第4回生涯学習・社会教育策定委員会
- 1月17日(火) まんまある「ポーセラーツ」教室 参加者5人
- 1月21日(土) 公民館講座「自分ご褒美♪セルフネイルケア」 参加者5人

にかほ夢ギャラリー展示 1月 楽々教室作品展・一閑張りクラブ作品展
出展 ジュニアカルチャー楽々教室
一閑張りクラブ

2. 事業計画

- 1月24日(火) 公民館講座「ここ効く★リンパ！講座④」
- 1月26日(木) 高齢者学級 金浦福寿大学 「にかほ市の宝物 文化編」
- 2月3日(金) 公民館講座「家庭園芸講座(花編)」
- 2月8日(水)・2月15日(水)・2月22日(水)
公民館講座「スマホ教室～入門編～」
- 2月10日(金) ほんわっカフェ
- 2月11日(土) 親子ふれあい体験教室
・ぼくもわたしも陶芸家
・幸せを呼ぶサンキャッチャーを作ろう
・ハワイアンリボンレイストラップを作ろう
- 2月14日(火) まんまある「バレンタインお菓子作り」
- 2月18日(土) 浜っ子クラブ 終わりの会
「オランダせんべいファクトリーでおせんべい手焼き体験」

にかほ夢ギャラリー展示 2月 陶芸クラブ作品展
出展 金浦陶芸クラブ

図 書 館 ・ 仁 賀 保 勤 労 青 少 年 ホ ー ム

1. 事業報告

【図書館】

テーマ展示

仁賀保分館 「家康 ～江戸を建てる～」

象潟分館 「図書館の本で趣味の沼にはまりませんか？」

こぴあ 「温故知新～昔の出来事を歴史・時代小説で学ぼう～」

12月16日（金）ブックスタート事業 5人参加

12月21日（水）図書館こぴあ大規模改修工事完成検査（市発注分）

1月 7日（土）子ども映画鑑賞会

「忍たま乱太郎の宇宙大冒険」 親子2組7人参加

1月 4日（水）～15日（日） 市内3図書館合同企画 本の福袋「お年玉」

展示 78セット（こぴあ：30 仁賀保分館：23 象潟分館：25）

貸出 72セット（こぴあ：29 仁賀保分館：21 象潟分館：22）

1月11日（水）図書館こぴあ大規模改修工事完成検査（JR施工分）

1月14日（土）おはなし会 図書館こぴあ 親子1組2人参加

【仁賀保ホーム】

1月 5日（木）トレーニング室新規利用者講習会 11人参加

1月16日（月）～館内エレベーター改修工事（ピット内防水工事）

2. 事業計画

【図書館】

1月23日（月）～26日（木）蔵書点検のため臨時休館 こぴあ

1月26日（木）第4回読書感想文募集事業審査会（一般の部）

1月27日（金）ブックスタート事業

2月11日（土）第18回読書感想文募集事業表彰式 図書館こぴあ

2月11日（土）おはなし会 図書館こぴあ

2月20日（月）～22日（水）蔵書点検のため臨時休館 仁賀保分館

【仁賀保ホーム】

1月26日（木）～エレベーター資材搬入予定

2月 2日（木）トレーニング室新規利用者講習会

仁賀保公民館

1. 事業報告

- 12月21日(水) 高齢者学級むらすぎ学園「交通安全教室」
参加者 33人
- 1月 6日(金) 子どものつどい 参加者 66人
- 13日(金) パソコン講座・活用編5回目「家計簿を作ろう」
参加者 12人
- 18日(水) にかほ市女性団体協議会第2回連絡会議
参加者 12人

にかほ夢ギャラリー展示 1月「作陶展」 出展者 仁賀保町陶芸愛好会

2. 事業計画

- 2月 4日(土) キッズユートリック「雪の動物園」見学
7日～3月14日(毎週火曜日)
子ども太鼓体験教室(全6回)
- 10日(金) パソコン講座・活用編⑥「宛名ラベルを作ろう」
- 15日(水) 高齢者学級むらすぎ学園「健康スポーツ」
- 17日(金) 「公民館講座」レザークラフト講座①
- 17日(金) キッズ・まもーる「院内小学校」
- 18日(土) キッズユートリック「お別れお楽しみ会」
- 22日(木) キッズ・まもーる「平沢小学校」
- 24日(金) 「公民館講座」レザークラフト講座②

にかほ夢ギャラリー展示 2月「白瀬轟を支えた南極探検隊」
出展者 白瀬南極探検隊記念館

象潟公民館

1. 事業報告

- ・ 1月12日(木) 象潟子どものつどい【学童クラブと共催事業】 75人参加
- ・ 1月17日(火) 白寿大学 スポーツ(ボッチャ) 32人参加
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 1月

「宇佐美^{ひとし}一市写真展」 出展者 宇佐美 一市 氏

2. 事業計画

- ・ 2月13日(月)、15日(水) パソコン講座
「Word・Excelの小技を覚えよう」
- ・ 2月18日(土) 友遊くらぶ「そば打ち体験!と終わりの会」
- ・ 2月21日(火) 白寿大学 修了式
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 2月

「宇佐美^{ひとし}一市写真展」 出展者 宇佐美 一市 氏

フェライト子ども科学館

1. 1月の事業報告

(1) 新型コロナウイルス対策について(1月)

- ・入館時間 9:00～11:45、13:00～16:30、館内の換気、消毒のため一時閉館(時間)
- ・館内の人数制限 なし ※状況をみて対応
- ・入館者への依頼事項 : 入館者の記録票記入、検温、手指消毒、マスク着用等
- ・実験工作教室等 : 少人数で実施
- ・1月の休館日(臨時)は、1月22日(日)、29日(日)(集団接種会場で当館駐車場使用のため)

(2) 入館者数の実績

	R4	R3	前年増減率	説明
4～12月計	15,919人	8,290人	92.0%	昨年同時期では、コロナ禍一時収束により久しぶりの休館明け増加したと思われる。
うち12月	623人	770人	△19.0%	

(3) 1月の事業実績 特になし

2. 2月の事業計画

① 2月6日(月) にかほミュージアム連携協議会 合同研修会

テーマ 「池田修三氏を学ぶ」 ※池田修三生誕100周年

座学(講演)、池田修三作品鑑賞(郷土資料館)、意見交換会

② 令和4年度 移動科学実験教室「磁石について」市内小学3年生対象 136名

2月9日(木) 院内小学校、 2月15日(水) 金浦小学校

2月16日(木) 平沢小学校 2月24日(金) 象潟小学校

〃 移動科学実験教室「モールス電信機と電磁石について」市内小学5年生対象
164名

2月6日(月) 象潟小学校、 2月13日(月) 平沢小学校

2月15日(水) 院内小学校 2月21日(火) 金浦小学校

3. その他

2月の休館日(臨時) : 2月19日(日)

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R4年度	R3年度	増減(▲)	説明						
4月～12月	9,130人	6,466人	41.2%							
うち12月	220人	294人	25.2%							
1月の状況	・1月23日現在、前年度と比較して入館者が20人(14%)増となっている。 <table border="1" data-bbox="576 833 1067 987"><tr><td colspan="2">※1月累計(1/23現在)</td></tr><tr><td>R4</td><td>141人</td></tr><tr><td>R5</td><td>161人 20人の増</td></tr></table>				※1月累計(1/23現在)		R4	141人	R5	161人 20人の増
※1月累計(1/23現在)										
R4	141人									
R5	161人 20人の増									

(2) 大隈重信没後100年企画展「大隈重信と南極探検後援会」

期間：令和4年11月8日(火)～令和5年3月12日(日)

内容：白瀬轟の発案した日本人初の南極探検は、明治の日本にとって壮大でさまざまな困難をともなう事業でした。その難しい局面をまとめあげた大隈重信と南極探検後援会の幹部の方々を紹介します。

2. 事業計画

(1) 第56回白瀬中尉をしのぶ集い

日時：令和5年1月28日(土)

内容：10:00～ 雪中行進

(金浦青少年ホーム～浄蓮寺～南極公園広場)

14:00～ 市民劇「星のゆくえ～わたしの白瀬南極探検隊」

講演：プロ冒険家 阿部雅龍氏

(2) 郷土史市民講座(象潟郷土資料館共催)

日時：2月12日(日) 13:30～15:00

会場：象潟公民館大ホール

演題：「白瀬轟、南極へ ―日本人初の極地探検―」

講師：平岡章夫氏(国立国会図書館 収集書誌部 外国資料課)

(3)にかほミュージアム合同研修会（主催：にかほミュージアム連携協議会）

日時：2月6日（月）13:30～16:05

会場：象潟公民館大ホール、象潟郷土資料館

内容：郷土資料館で池田修三について研修、意見交換等

令和5年第1回教育委員会【報告資料】

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R 4	R 3	比較	増減率	説 明
4～12月 計	3,402 人	1,743 人	1,659 人	95.2%	
うち12月	219 人	125 人	94 人	75.2%	

1月 7日(土) 「北東北の七日堂祭」調査

1月22日(日) 第1回郷土史市民講座
「松尾芭蕉『奥の細道』について
～芭蕉の新庄での足跡と歌仙のことなど～」
講師/最上地域史研究会 幹事 三浦 和枝 氏

2. 事業計画

2月 5日(日) 第3回獅子ヶ鼻湿原緊急調査委員会

2月 5日(日)～2月26日(日)
第2回～第6回 郷土史市民講座(裏面のとおり)

令和4年度郷土史市民講座の開催について（ご案内）

【 講 座 日 程 表 】

日 程	学 習 内 容
（ 第 1 回 ） 令和5年 1月22日（日） 13:30～15:10 象潟公民館大ホール	・開講式 「松尾芭蕉『奥の細道』について ～芭蕉の新庄での足跡と歌仙のことなど～」 講師／最上地域史研究会 幹事 三 浦 和 枝 氏 ★新庄市の奥の細道のお話のほか、歌仙や俳諧といったあまり知られていない奥の細道のテーマを深掘りしていただけます。
（ 第 2 回 ） 2月5日（日） 13:30～15:00 象潟公民館大ホール	【共催：鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会】 「鳥海山の火山活動について—最近解明されたことを中心に—」 講師／秋田大学大学院 教授 大 場 司 氏 ★象潟の風景を生み出した 2500 年前の山体崩壊や鳥海山の火山活動について、最近解明されたばかりの興味深いお話いたします。
（ 第 3 回 ） 2月12日（日） 13:30～15:00 象潟公民館大ホール	【共催：白瀬南極探検隊記念館】 「白瀬 轟、南極へ—日本人初の極地探検」 講師／国立国会図書館 収集書誌部 外国資料課 主査 平 岡 章 夫 氏 ★国立国会図書館ホームページ「本の万華鏡」の中から、白瀬轟のさまざまな資料を通してお話いただけます。
（ 第 4 回 ） 2月16日（木） 13:30～15:00 象潟公民館大ホール	「海の道に寄せる文化の軌跡—仁賀保郷の北前船文化—」 講師／NPO法人 日本民俗経済学会 理事 齊 藤 壽 胤 氏 ★来年度にかほ市では北前船日本遺産認定5周年を迎え、資料館でも北前船関係の展示を予定しており、関連するお話になります。
（ 第 5 回 ） 2月23日（木） 13:30～15:00 象潟公民館大ホール	「天然記念物獅子ヶ鼻湿原の価値と課題」 講師／秋田県立大学 生物資源科学部 教授 蒔 田 明 史 氏 ★獅子ヶ鼻湿原は、今年3年間の緊急調査事業、最後の年のとなります。今回はその調査委員会の委員長の蒔田先生の講演です。今回の調査結果にとどまらない獅子ヶ鼻湿原の価値と課題についてお話いただけます。
（ 第 6 回 ） 2月26日（日） 13:30～15:10 象潟公民館大ホール	「激動期 仁賀保氏一族の生き残る処世術」 講師／秋田県歴史研究者・研究団体協議会 会長 半 田 和 彦 氏 ★今年 2023 年は由利本荘市では本荘藩入部 400 年記念というイベントが開催されますが、関連イベントとして、同じ時期の仁賀保氏の激動の時代紹介します。

※受講料は400円です（全講座分）。講座初回日に受付でお支払い願います。

※2月5日(日)[第2回]、および2月12日(日)[第3回]の受講は無料です。

※日程あるいは学習内容が変更になった場合は、参加者にその都度ご連絡いたします。

※ご来場の際はマスクの着用および手指消毒にご協力をお願いいたします。

〈問い合わせ先〉象潟郷土資料館（電話43-2005 FAX43-2014）